

科目名		REC実習Ⅳ		担当講師		金沢 琢司	
講師実務経験		株式会社スタジオバードマン勤務(平成5年～平成13年)					
対象学年		2 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態	実習
期 間		7～8期	総授業回数	28 回	1回あたりの授業時間		270(135) 分
期		修 得 目 標					
7期		スタジオ録音・MIXの基本作業の知識を修得する。					
8期		スタジオ録音・MIXの応用作業を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月17日 18日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
2	10月24日 25日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
3	10月31日 11月1日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
4	11月7日 8日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
5	11月14日 15日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
6	11月21日 22日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
7	11月28日 29日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
8	12月5日 6日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
9	12月12日 13日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
10	1月16日 17日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
11	1月23日 24日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
12	1月30日 31日	バンドによるスタジオ録音(Keisen Basic Setによるマイクセッティング)～MIX					
13	2月6日 7日	バンドによるスタジオ録音・MIX 応用編(マスタリング等)					
14	2月13日 14日	定期試験対策					
15							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		126時間中43時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		選択 照明実習		担当講師		向出 敦子	
講師実務経験		照明会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	各専攻		授業形態	実習
期 間		7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		舞台照明の基本について修得する。					
8期		4Fホールのシステムと操作卓について修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	照明機材やケーブルについて					
2	10月25日	機材の仕込み方について(点灯するまでの仕組み)					
3	11月1日	配線ケーブルや変換ケーブルを使用する仕込みについて					
4	11月8日	カラーフィルターやフォーカスについて					
5	11月15日	フロア仕込みについて					
6	11月22日	フォーカスの名称について					
7	11月29日	操作卓について					
8	12月6日	ケージの強弱や明りの組み合わせについて					
9	12月13日	シーンづくりについて					
10	1月17日	復習仕込み(過去図面を使用)					
11	1月24日	応用仕込み①					
12	1月31日	応用仕込み②					
13	2月7日	実技テスト対策					
14	2月14日	実技テスト(予定)					
15		※教科書「舞台テレビジョン照明」、筆記用具持参					
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		PA(選択授業)		担当講師	久本 晃三		
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	PA選択者		授業形態	実習
期 間		7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		PAの機材、仕事内容を理解し基本的な取り扱いを修得する。					
8期		簡易PAシステムの設置 & モニターオペレートを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	オリエンテーション、ケーブル巻き、PA仕事説明					
2	10月25日	PAコンソール(卓)、モニター仕込み図説明					
3	11月1日	仕込み図を見ての仕込み作業					
4	11月8日	仕込み図を見ての仕込み作業					
5	11月15日	仕込み作業試験					
6	11月22日	仕込み作業試験					
7	11月29日	モニタースピーカー、AUX等の説明					
8	12月6日	エフェクター、AUX等の説明					
9	12月13日	仕込み図をプラスして仕込みの練習(SPX990)					
10	1月17日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習					
11	1月24日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習					
12	1月31日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験					
13	2月7日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験					
14	2月14日	後期試験対策他					
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で修得不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		選択 動画制作		担当講師		岡 宏樹	
講師実務経験		映像制作会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	各専攻		授業形態	実習
期 間		7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		映像作品の企画、撮影、編集について修得する。					
8期		与えられたテーマを映像で表現する表現力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	授業ガイダンス					
2	10月25日	カメラについて(設定やカメラワーク)					
3	11月1日	Premiereによるノンリニア編集について					
4	11月8日	映像の構成について					
5	11月15日	テーマに沿った映像制作Ⅰ①(企画)					
6	11月22日	テーマに沿った映像制作Ⅰ②(撮影)					
7	11月29日	テーマに沿った映像制作Ⅰ③(編集、カラーコレクション)					
8	12月6日	テーマに沿った映像制作Ⅰ④(テロップ、MA、完成)					
9	12月13日	テーマに沿った映像制作Ⅱ①(企画)					
10	1月17日	テーマに沿った映像制作Ⅱ②(撮影)					
11	1月24日	テーマに沿った映像制作Ⅱ③(編集、カラーコレクション)					
12	1月31日	テーマに沿った映像制作Ⅱ④(テロップ、MA、完成)					
13	2月7日	完成作品の試写、ディスカッション					
14	2月14日	試験対策					
15							
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		2年 REC選択実習		担当講師		金沢 琢司	
講師実務経験		株式会社スタジオバードマン勤務(平成5年～平成13年)					
対象学年		2 学年	対象専攻	A/B組選択		授業形態	実習
期 間		7～8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		スタジオ録音機材の概要についての知識を修得する。					
8期		録音現場の基本作業を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	スタジオ内部システムの概要					
2	10月25日	調整卓の基本操作とマイクロフォンについて					
3	11月1日	外部エフェクタの概要(ダイナミック系)					
4	11月8日	外部エフェクタの概要(センドリターン系)					
5	11月15日	ProToolsの基本操作について					
6	11月22日	ブース内でのマイクセッティングについて					
7	11月29日	ブースからコントロールルームまでの信号の流れについて					
8	12月6日	録音実践1(マイクセッティング～回線チェック～調整～録音)					
9	12月13日	録音実践2(マイクセッティング～回線チェック～調整～録音)					
10	1月17日	録音実践3(マイクセッティング～回線チェック～調整～録音)					
11	1月24日	MIX実践1(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)					
12	1月31日	MIX実践2(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)					
13	2月7日	MIX実践3(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)					
14	2月14日	MIX実践4(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)					
15							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		選択 カラーコーディネイト		担当講師		木村 真祐美	
講師実務経験		カラーコーディネーター、カラーセラピスト					
対象学年		2 学年	対象専攻	各専攻		授業形態	講義
期 間		7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		色の持つ効果を知り、仕事に役立つ実践的な色彩の基礎知識を修得する。色彩を身近に感じ、楽しみ興味を持って活用できることを修得する。					
8期		色に関する感性を磨き、自分の似合う色を発見し相手に与える印象を高め、ビジネスシーンで色彩活用ができることを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	授業ガイダンス					
2	10月25日	色の働きと色の見える仕組みについて					
3	11月1日	色彩基礎知識について					
4	11月8日	色の感情作用、知覚的効果について					
5	11月15日	色彩調和(配色テクニック)について					
6	11月22日	色とイメージの関係について①					
7	11月29日	色とイメージの関係について②					
8	12月6日	パーソナルカラー(似合う色)について①					
9	12月13日	パーソナルカラー(似合う色)について②					
10	1月17日	カラーセラピー(色彩心理)について①					
11	1月24日	カラーセラピー(色彩心理)について②					
12	1月31日	ビジュアルデザインと色彩の関係について					
13	2月7日	カラーマーケティングについて					
14	2月14日	定期試験対策					
15							
評価方法		定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価方法:A					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		マスメディア		担当講師		高橋 学	
講師実務経験		映画会社取締役、映像会社代表					
対象学年		2 学年	対象専攻	コンサート、スタジオ、サウンド3専攻		授業形態	講義
期 間		7期・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
7期		映像の基本的なルールをいろいろコンテンツを使用して修得する。					
8期		映像の基本的な知識や技術をいろいろコンテンツを使用して修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月12日	授業ガイダンス					
2	10月19日	映像の基本的なルール①(基本編)について					
3	10月26日	映像の読み取り能力①(基本編)について					
4	11月2日	映像の基本的なルール②(応用編)について					
5	11月9日	映画、テレビ、CM、PV、Webコンテンツのそれぞれの映像の特徴					
6	11月16日	プリプロダクションにおける映像の知識①(基本編)					
7	11月30日	プリプロダクションにおける映像の知識②(応用編)					
8	12月14日	プロダクションにおける映像の知識①(基本編)					
9	1月18日	プロダクションにおける映像の知識②(応用編)					
10	1月25日	ポストダクションにおける映像の知識①(基本編)					
11	2月1日	ポストダクションにおける映像の知識②(応用編)					
12	2月8日	最新の映像技術について					
13	2月15日	映像の読み取り能力②(応用編)について					
14							
15							
評価方法		定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価方法:A					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		著作権論		担当講師		鈴木 雅光	
講師実務経験		イベント制作会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	コンサート、スタジオ、サウンド3専攻		授業形態	講義
期 間		7期・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
7期		音楽業界に関わる上で必要な音楽業界のしくみや流通戦略について修得する。					
8期		著作権収入及び著作権法での問題点を理解し、知識を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月12日	授業ガイダンス、著作権とは、音楽創造サイクル、音楽産業の歴史について					
2	10月19日	音楽業界の代表的な職種と役割について					
3	10月26日	メジャーレーベルについて					
4	11月2日	CDの存在を知るため、CDクレジットの中身について					
5	11月9日	アーティストの発掘及びCDが出来るまでの詳細について					
6	11月16日	アーティスト活動の種類、アーティストのギャラ構造、著作隣接権について					
7	11月30日	著作権と知的財産権、著作権と音楽出版社について					
8	12月14日	著作権用語集及び著作権問題について					
9	1月18日	アーティストの著作権収入計算について①					
10	1月25日	アーティストの著作権収入計算について②					
11	2月1日	アーティストの著作権収入計算練習問題					
12	2月8日	著作権収入小テスト					
13	2月15日	定期試験対策					
14							
15							
評価方法		定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価方法:A					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	音楽研究			担当講師	森 良太		
講師実務経験	音響会社勤務						
対象学年	2 学年	対象専攻	サウンド、コンイペ、スタジオ共通		授業形態	講義	
期 間	7期・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間			45 分
期	修 得 目 標						
7期	様々な音楽ジャンルとそのルーツについての知識を修得する。						
8期	実際に様々なジャンルを鑑賞し、深い知識を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月12日	授業ガイダンス					
2	10月19日	ブラックミュージックについて①					
3	10月26日	ブラックミュージックについて②					
4	11月2日	ブラックミュージックについて③					
5	11月9日	カントリー、ロックンロールについて					
6	11月16日	ポップス、エレクトロニカについて					
7	11月30日	クラシックについて					
8	12月14日	民俗音楽について					
9	1月18日	オルタナティブについて					
10	1月25日	その他のマイナージャンルについて					
11	2月1日	ブラックミュージック、ジャズ、ポップス、ロックの鑑賞					
12	2月8日	クラシック、エレクトロニカ、オルタナ、民族音楽の鑑賞					
13	2月15日	試験対策					
14							
15							
評価方法	定期試験点数(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:A						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名		PA基礎実習Ⅱ		担当講師		久本 晃三	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態	実習
期 間		7期・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		基本的な簡易PAシステムの仕込作業を修得する。					
8期		簡易PAシステムの設置＆モニターオペレートを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月12日	オリエンテーション、ケーブル巻き、PA仕事説明					
2	10月19日	PAコンソール(卓)、モニター仕込み図説明					
3	10月26日	仕込み図を見ての仕込み作業					
4	11月2日	仕込み図を見ての仕込み作業					
5	11月9日	仕込み作業試験					
6	11月16日	仕込み作業試験					
7	11月30日	モニタースピーカー、AUX等の説明					
8	12月14日	エフェクター、AUX等の説明					
9	1月18日	台本に沿ってBGM,ナレーションのオペレート練習					
10	1月25日	台本に沿ってBGM,ナレーションのオペレート練習					
11	2月1日	台本に沿ってBGM,ナレーションのオペレート試験					
12	2月8日	台本に沿ってBGM,ナレーションのオペレート試験					
13	2月15日	定期試験対策他					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		39時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		MA実習Ⅳ		担当講師		田 莉子 和之	
講師実務経験		音楽・番組制作会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	スタジオサウンド 専攻		授業形態	実習
期 間		7期・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
7期		MA作業の理解と、音声・映像・同期関係に関する知識と音声編集を修得する。					
8期		MA作業の理解と、付随する特殊用語の習熟、及び、音声・映像・同期関係に関する知識と音声編集を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月13日	授業ガイダンス／MAの概要・知識について					
2	10月20日	MA作業準備 / 整音について(1)					
3	10月27日	ナレーション・アフレコの収録について(1)					
4	11月10日	ナレーション・アフレコの収録について(2)					
5	11月17日	ナレーション・アフレコの収録について(3)					
6	11月24日	整音について(2)					
7	12月1日	音楽や効果音の仕込みについて(1)					
8	12月15日	音楽や効果音の仕込みについて(2)					
9	1月19日	音楽や効果音の仕込みについて(3)					
10	1月26日	整音について(3)					
11	2月2日	ミックスについて					
12	2月9日	実技習得度判定					
13	2月16日	定期試験対策／授業まとめ					
評価方法		【B】定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 実技習得度評価時期・方法:8期・作業作品による評価					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		プリント配布					
注意事項		78時間中27時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		就職ガイダンス		担当講師		一岡永	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	2年A組、B組		授業形態	講義
期 間		7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
7期		社会人に必要な基礎知識を修得する。					
8期		社会人に必要なビジネスマナーを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月14日	新社会人の心得					
2	10月21日	新入社員 仕事の進め方について					
3	10月28日	各種保険、年金、税金の概要①					
4	11月4日	各種保険、年金、税金の概要②					
5	11月11日	名刺交換について					
6	11月18日	仕事の目標設定について					
7	11月25日	業界の仕事の繋がりについて					
8	12月2日	来客対応の基本とコツ					
9	12月16日	新社会人の心得①					
10	1月20日	新社会人の心得②					
11	1月27日	新社会人の心得③					
12	2月3日	新社会人の心得④					
13	2月10日	新社会人の心得⑤					
14	2月17日	総まとめ					
15							
評価方法		3分の2以上の出席で修得済評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		プリント配布					
注意事項		14時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		時事研究		担当講師		國本 昌秀	
講師実務経験		元HTB北海道テレビ勤務（記者・デスク、ディレクター、プロデューサーなど）					
対象学年		2 学年	対象専攻	2年A,B組		授業形態	講義
期 間		後期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
7期		ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動への活用法を修得する。					
8期		ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月14日	授業ガイダンス 習得目標について					
2	10月21日	岸田政権就任1年					
3	10月28日	直近のニュースについて					
4	11月4日	直近のニュースについて					
5	11月11日	直近のニュースについて					
6	11月18日	直近のニュースについて					
7	11月25日	直近のニュースについて					
8	12月2日	2022年ニュース振り返り①					
9	12月16日	2022年ニュース振り返り②					
10	1月20日	2023年はどんな年					
11	1月27日	直近のニュースについて					
12	2月3日	直近のニュースについて					
13	2月10日	直近のニュースについて					
14	2月17日	講義振り返り					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業でプリント配布					
注意事項		14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）					